

令和5年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	健康運動施設の運営				担当課名	教育こども課
(予算書コード)	10-05-04-12-01				担当係名	健康サポート係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営			
事業の開始・終了	令和 3 年 4 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)					
根拠法令等の名称	下諏訪町健康運動施設条例、下諏訪町健康運動施設条例施行規則					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	子どもから高齢者まで幅広い年代の地域住民に対し、健康スポーツゾーン、健康ステーション、健康フィールドの利用を促し、健康づくりやスポーツを通じた、町民の心身の健全な発達や維持を支援する。またこのために、施設、設備の適正な管理運営を図る。					
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和4年度	令和5年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)	健康ステーションの利用者数	年間の利用者数	人	目 標	6,500	6,500
				実 績	6,674	13,447
				達成率	102.7%	206.9%

【投入されたコスト・業務量】

			令和4年度決算		令和5年度決算		令和6年度予算	
事業費	事業費 A		12,541 千円		11,761 千円		10,878 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費		1.50 人	3,622 千円	2.00 人	4,249 千円	1.00 人	2,494 千円
	正規職員人件費 B		1.25 人	8,211 千円	1.25 人	8,436 千円	2.00 人	13,811 千円
事業費合計 C (A+B)			20,752 千円		20,197 千円		24,689 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担						
		県の負担						
		町の借入						
		その他	3,884 千円		6,377 千円		5,794 千円	
		うち 使用料・手数料 D	3,859 千円		6,349 千円		5,770 千円	
	一般財源（町の負担）		16,868 千円		13,820 千円		18,895 千円	
受益者負担率（D／C）			18.596 %		31.435 %		23.371 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	B 町以外では行えない	当該施設は健康スポーツゾーンの拠点施設と位置付けられ、町の関係部局との連携により、町民の健康増進に関する施策を推進するうえで、柔軟な対応が求められることから、町の直営による運営が望ましい。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	B 検討の余地がある	町民、町民以外を問わず利用できる施設で、1回券・回数券・定期券の区分があり、使用頻度に応じた料金を選択することができる。 多くの地域住民に施設に足を運んでもらい、新規登録の増進を図る。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A 適切である	必要最小限の予算で運営している。人員配置についても、施設の運営、実施事業の内容から適切といえる。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	A 目標値以上である	健康ステーションについては、開館時間の試験延長等により利用者が増加し、目標の利用者数を達成することができた。 利用者の継続的な利用を促し、引き続き利用の増進を図る。

総合評価	現状維持	現在の手法を維持するとともに、利用者要望等を把握し改善に繋げることで更に利用しやすい施設運営に努め、地域住民の健康づくりを支援する。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和5年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	健康運動支援事業				担当課名	教育こども課	
					担当係名	健康サポート係	
(予算書コード)	10-05-04-14-01						
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託			
事業の開始・終了	令和 3 年 4 月 ~ 年 月				(事業に始期又は終期がある場合に記入)		
根拠法令等の名称	下諏訪町健康サポーター設置要綱						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	諏訪湖畔の健康スポーツゾーン及び高浜健康温泉センター、健康運動施設等を活用し、健康サポーターの協力により、主に町民を対象とした運動講座等を開催し、町民の健康づくりの機会の増進、運動習慣の形成を促し健康増進に繋げる。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
	健康スポーツゾーンを活用した講座開催回数及び参加者数	みずべフィットネス教室参加者数	人	目 標	160	160	160
				実 績	89	100	
				達成率	55.6%	62.5%	

【投入されたコスト・業務量】

			令和4年度決算		令和5年度決算		令和6年度予算	
事業費	事業費 A		2,604 千円		2,423 千円		2,607 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費		人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B		1.50 人	9,853 千円	1.25 人	8,436 千円	1.25 人	8,632 千円
事業費合計 C (A+B)			12,457 千円		10,859 千円		11,239 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円		千円		千円	
		県の負担	452 千円		452 千円		452 千円	
		町の借入	千円		千円		千円	
		その他	千円		千円		千円	
		うち 使用料・手数料 D	千円		千円		千円	
一般財源（町の負担）			12,005 千円		10,407 千円		10,787 千円	
受益者負担率（D／C）			0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	C 協働を検討すべき	町民の健康増進を支援する事業であり、町が主体となって進める必要があるが、健康サポーターをはじめとした地域住民や、関係団体の協力を得ることで、取り組みの幅を広げる必要がある。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	町の広報誌等を通じて受講者を募集するとともに、各人の受講数に制限を設けるなど、多くの方が平等に参加できるよう配慮している。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A 適切である	費用、人員については適切である。健康サポーターの協力により、多様な講座の開設するとともに、実施頻度を増やすことを目標とする。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	C 目標値以下である	指標とする「みずべフィットネス教室」については、募集方法の変更等により、前年度に比べ参加者が増加したものの目標値には達しておらず、運営方法の見直しが必要である。

総合評価	手法改善	指標としている、健康スポーツゾーンを活用した「みずべフィットネス教室」については、町民のニーズを把握したうえで、講座内容を見直すなど手法の改善が必要である。
	手法改善の内容	町民に興味を持ってもらえるような周知の方法を検討するなどの見直しを図る。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)		手法改善

令和5年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	高浜健康温泉センターゆたん歩°の運営				担当課名	教育こども課	
					担当係名	健康サポート係	
(予算書コード)	10-05-04-10-01						
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託			
事業の開始・終了	平成 26 年 4 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)						
根拠法令等の名称	下諏訪町高浜健康温泉センター条例、下諏訪町高浜健康温泉センター条例施行規則						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	下諏訪町の財産である温泉を用いた高浜健康温泉センターの管理運営、歩行浴プールを活用した運動講座等の実施を通じ、町民の健康増進及び福祉の向上を図る。						
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)	高浜健康温泉センターの利用者数	年間の利用者数	人	目 標	47,000	47,000	48,000
				実 績	43,577	47,698	
				達成率	92.7%	101.5%	

【投入されたコスト・業務量】

			令和4年度決算		令和5年度決算		令和6年度予算	
事業費	事業費 A		36,270 千円		35,061 千円		38,143 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費		2.00 人	5,388 千円	2.00 人	6,038 千円	2.00 人	6,403 千円
	正規職員人件費 B		0.75 人	4,927 千円	0.50 人	3,374 千円	0.75 人	5,179 千円
事業費合計 C (A+B)			41,197 千円		38,435 千円		43,322 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担						
		県の負担						
		町の借入						
		その他	11,926 千円		12,980 千円		13,972 千円	
		うち 使用料・手数料 D	11,873 千円		12,926 千円		13,920 千円	
一般財源（町の負担）		29,271 千円		25,455 千円		29,350 千円		
受益者負担率（D／C）			28.82 %		33.631 %		32.131 %	

【事業の評価】

区 分		評 価	説 明
妥当性	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	B 町以外では行えない	当該施設は健康スポーツゾーンにおける健康増進の拠点施設と位置付けられ、他の施設、部局と連携した柔軟な運営が求められるため、町の直営が望ましい。
公平性	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	すべての住民が利用可能な施設。周辺温泉施設と競合しないよう利用料金を設定しており、現状では適正な料金と考える。
効率性	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A 適切である	施設の性質上、安心安全に利用できること、衛生的であることが最優先に求められるが、必要最低限の費用、人員配置で運営されているといえる。
達成度	事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	B 目標値どおりである	利用者数が新型コロナ感染拡大前程度の水準に戻り、年間利用者数が過去最高となった。

総合評価	現状維持	現在の運営方法を維持し、地域住民の皆さんに安心して利用してもらえるサービス提供に努める。 開館から10年を迎え、設備等に不具合が生じる箇所が出始めているため、適正な施設管理を行い、開館に支障をきたさないよう徹底する。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	手法改善	